

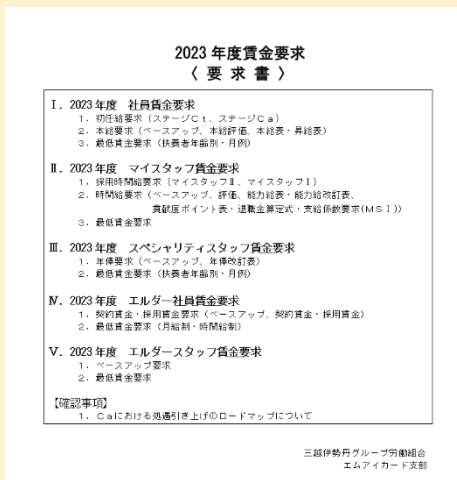


IMGU エムアイカード支部 ニュースフラッシュ



2023年3月24日（金）に労使協議会を実施しました。
今回の労使協議会の議題は、春の交渉「2023年賃金要求」についてです。

まず、労使で「22年度労使通年協議事項」と「次年度通年協議事項」について確認を行いました。
次に組合より、支部大会の審議結果およびメンバーズ VOICE での意見等の報告、賃金要求を行いました。



続いて会社より、22年度の実績および当社の現状のご説明および賃金要求に対する回答をいただきました。



【会社回答】
全項目 組合要求どおり
満額回答



株式会社 エムアイカード 代表取締役社長執行役員 梅田 貴生

22年度は、コロナの影響やマーケットの激しい変化、さらにPAN非保持化により営業利益の水準が左右される等、大きな影響がありました。係る環境下でも各部門において従業員お1人おひとりがお客さまと向き合い、粘り強く業務を遂行していただいたことに心より感謝しています。また、組合の皆さんとは各種制度改定について時間は要したものの、従業員の皆さんのためにプラスになる事を突き詰め、やり遂げることができました。常に世の中が変化している以上、我々も変化をしていく必要があります。引き続き従業員の皆さんと対話の機会を確りとりながら「より良く」ということに対し貪欲になっていきたいと思っています。

今年度も従業員の皆さんとの対話や経営からの情報発信を増やしてきましたが、その結果従業員エンゲージメントの調査では、数値が着実に改善しており嬉しく思いますし、コミュニケーションが大切だということを改めて実感しています。そして従業員の皆さんと共に様々なことから逃げずに向き合い、説明をしてお互いに理解をしていくプロセスが大切です。23年度に向けて、我々を取り巻く環境、特に「グループにおける金融事業会社としての当社の位置づけ」は大きく向上しています。全員と対話をする事は容易ではありませんが、皆さんがモチベーションをもってご自身の意見を伝えること、そして経営に参加していくことで大きな変動を実現していくことができます。

WBCの優勝で歓喜に溢れたのは、個人の力だけでなく、裏方やファンを含め皆で盛り上がり、自分の役割を確り果たし、お互いをリスペクトし、全員で成し遂げたからこそ大きな価値を持つのではないかと考えています。そのようなことを常に意識しながら皆さんと一緒に来年度も取り組んでいきたいと思っています。「人財＝人が財産」ということを真に意識しつつ進めていくことが大切です。

2023年度は大きなチャレンジを遂行していく年であり、今後2カ年さらに2030年の営業利益100億という高い目標に向け、我々のやってきたことが大きな価値を持つということを信じながら労使一体となって皆さんと進みたいと考えています。来年度も引き続きよろしく申し上げます。ありがとうございました。



三越伊勢丹グループ労働組合 エムアイカード支部執行委員長 益田 直哉

今回の組合要求に対して満額のご回答を頂きまして、誠にありがとうございました。御礼申し上げます。

春の労使交渉終了にあたり、ふたつ申し述べさせていただきます。

ひとつは「人財育成」についてです。

23年・24年の2カ年計画については「足元の数字」と「将来の仕組みづくり」を両立させるものと認識しています。難易度の高い項目に会社としてチャレンジしていくことになると思いますが、社員としては成長する絶好のチャンスだと思います。ぜひ今回の人財育成方針の取り組みと一人ひとりの日々の業務が結び付き、成長と組織貢献が実感できるように経営層・ライン長がより一層強いリーダーシップを発揮していただきたくお願い申し上げます。組合も現場活動にこだわり、メンバーの声を通じた課題を吸いあげています。

ふたつ目は「働く環境」についてです。

グループ中期計画やエムアイカードの2カ年計画を達成していくためには、メンバーが安心して働くことのできる職場環境を作ることが不可欠であると考えます。具体的な課題は労働時間管理とハラスメントです。

労働時間管理については今まで労使で様々な取り組みを実施してまいりましたが、全員が当事者意識をもって業務改善に取り組むことや上司と部下の対話による進捗管理や一部メンバーへの偏り回避、ノー残業デーは必ずノー残業デーとして帰る、などシンプルで実効性のある取り組みを引き続き労使で推進したいと考えています。

またハラスメントについては、Gr全体としての懲罰案件や通報・相談の件数は依然減っていません。今後Gr連邦としての取り組みや要員ミックスが進む中で『いかなるハラスメントも絶対行わない、一切許容しない』という強い姿勢が必要と考えます。正しい知識と高い意識、見て見ぬふりはしないといったことを徹底すべくこちらも労使一体となって取り組ませていただきたいと思います。

最後となりますが23年度もよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

